

令和3年度第2回 愛知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

- 1 開催期間 令和4年2月9日（水）から令和4年3月8日（火）まで
- 2 開催方式 持ち回り
- 3 主な議題
 - (1) 令和3年度の業務進捗状況について
 - (2) 令和4年度の訓練計画について
 - (3) その他
- 4 議事経過 主な意見は以下のとおり。

【全般】

- ・コロナ禍における業務展開について、随所に工夫が見られてとても良い。
- ・コロナ禍において、一定以上の受講者数を確保していることは評価できる。
- ・ポリテクセンターにおける訓練の展開や募集活動の内容を見ると、人手不足や定着の悪さを訴える企業・業界側としても、受講生の受入態勢の充実や職場環境改善が必要であると感じた。

【離職者訓練】

- ・新科「ものづくりサポート科」については、ターゲットが女性かつ主婦層であるため、広報活動への工夫を期待する。
- ・「ものづくりサポート科」の新設は、世情の変化に対応した取組として期待している。

【在職者訓練】

- ・企業訪問によるヒアリング調査、受講者や事業主へのアンケート調査等を踏まえつつ、定員充足率やキャンセル待ち等を考慮して、訓練計画を見直しているところが良い。
- ・訓練コースの改廃や計画見直しについては、引き続きヒアリングやアンケート結果に基づいて適時、実施してもらいたい。
- ・ARを活用した溶接訓練の取組は良い。更なるカリキュラムの改善に期待したい。
- ・来年度のポストコロナを見据え、受講者数の目標達成に向けた取組を期待したい。
- ・今後、中小企業においてもSDGsやカーボンニュートラル等への対応が重要になることから、これらをテーマとした訓練コースの設定を期待している。

【生産性向上支援訓練】

- ・中小企業のDX推進を支援するためのコース（DX対応コース）の拡充は、良い取組だと思う。
- ・訓練実施を通じて、中小企業のDX推進の役割を担う人材の育成を期待している。

【求職者支援訓練】

- ・申請件数が大幅に増加したのは、継続的な開拓活動の賜物と考える。今後も継続するよう希望する。

【地域連携・地域貢献】

- ・技能五輪予選会などの連携・貢献は、地域のものづくりの根幹を支える重要な活動と思う。今後も積極的な実施を希望する。

【その他】

- ・高齢者雇用については、ますます重要度が高まっていく中、雇用のミスマッチによる失業・退職が多く発生している。雇用支援機構としても、より一層の情報提供や他機関と連携した業務展開を進めるよう要望する。

令和3年度第2回 愛知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

藤 本 英 雄 (会長)	名古屋工業大学大学院 名誉教授
小野木 昌 弘	中日新聞社論説室 論説委員
奥 居 孝 二	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会 副会長
福 岡 正 俊	日本労働組合総連合会愛知県連合会 副事務局長
久 野 徳 彦	名古屋商工会議所中小企業部 部長
伊 藤 雅 則	愛知県商工会連合会 専務理事
石 川 泰 三	愛知県中小企業団体中央会 専務理事
山 本 敦	名古屋港運協会船内部会 部会長
豊 嶋 吉 武	厚生労働省愛知労働局 職業安定部長
橋 本 礼 子	愛知県 労働局長
小 林 直 浩	小牧市地域活性化営業部 部長